

2019年11月18日

## 脳神経外科に、過去に入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 開頭腫瘍摘出術後患者の在院日数と入院中の体重変化率の関連についての後方視的検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] リハビリテーション部 理学療法士 眞鍋朋誉

[研究の目的]

脳腫瘍に対する開頭腫瘍摘出術を施行された患者さんにおいて、術後在院日数や身体機能、転帰に対して入院中の体重変化が影響するかを調査することで、リハビリテーションを含む術後の治療の発展に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

原発性脳腫瘍の診断に対して、2017年1月1日から2019年6月30日の間に、当院脳神経外科にて開頭腫瘍摘出術を施行された方

○利用する検体・診療情報

検体：特になし

診療情報：診断名、脳腫瘍の悪性度、再発の有無、年齢、性別、同居家族の有無、身体所見、退院時Body Mass Index、栄養関連血液データ(総蛋白値、アルブミン値、予後栄養指数)、検査結果(MRI画像検査)、手術記録、治療経過、術後入院期間中の摂取栄養量、日常生活動作の介助量、手術日、退院日、転帰

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 脳神経外科

香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法士 眞鍋朋誉

電話 087-891-2306